



凡事徹底

当たり前のことを当たり前

蕨市立第二中学校
学校だより
令和8年度
第2号(5月号)

始まりのひと月を過ぎて…

□4月 4つの「式」

校長 齋藤 大輔

生徒たちと共有した、いずれも大切にしたい4つの式があった。

始業式。新たな2年生、3年生に、この第二中学校の校訓「凡事徹底」について、私なりの考えを話した。当たり前になれるとなるとそれは目立たなくなり、一方で、まだできてないことばかりが目立っていく。だから、まず、仲間が「凡事徹底」できているところを互いに見つけてあげてほしい。褒めてあげてほしい。そんな、お互いを賞賛する気持ちが日々飛び交う、いいクラスにしていってほしい。そんな私の話を静かに、よい姿勢で、しっかりと聴いてくれていた二中生たち。その様子に、「凡事徹底」が一つ見えた。

入学式。初の試みとして午前中に開催した。校内の職員の反応はもとより、保護者や地域、関係の方々への反響も待ちたいところでもあるが、校長としては、ここでは職員全員による前日の式場準備。あれがよかったと言いたい。新旧入り混じった、新たな二中のスタッフたちによる、言わば初めての共同作業。よい雰囲気でも新年度がスタートしたな、とぼんやり思いながら体育館の準備を眺めていた。手伝いもせずに。

対面式。2年生にとっては先輩としての初仕事。生徒会役員や各委員会、部活動が工夫を凝らし、1年生に向けて一生懸命に発表を行っていた。ここで美術部が発表に用いた大きな絵に驚いた。フェルメールの「牛乳を注ぐ女」を模した絵。大きさに関しては本家をも上回る、巨大な絵だ。壁画と言ってもいい。でも、驚いたのはその後。対面式後に美術部員たちがその絵を美術室前に掲示していたのだが、これが見事なくらい壁面にジャストフィット。たまたまサイズが合った。美術科の先生はそう話すが、絶対こうそだ。ぴったりすぎる。これは5月7日(木)から11日(月)の学校公開(宣伝です)の際に来校者の方々にもぜひ見ていただきたい。この絵自体に見応えがあるし、校内には他にも、素人目ではあるがレベルの高い生徒の作品がたくさんある。

離任式。…と言えば校長が去られた先生方をご紹介するわけだが、当然来たばかりの校長に紹介できるはずがない。今いる先生方、学年や教科、部活動など様々な場面で関わりが強かったと思いき方々に、それぞれどんな先生だったかを訊いてまわった。どの先生に対しても、温かく、慕われていたエピソードや印象ばかり。紹介の原稿づくりに困ることはなかった。去られた先生方が残したもの、そして抜けた穴はととても大きい。残された者や新たに加わった我々がそれをしっかりと継ぎ、全力で教育活動に挑まねば。思いを新たにしたい。

□地域を知る その1

この学区を、まだ私はよく知らない。ある日、時間に任せ、学区に沿ってぐるっと廻ってみた。

まずはこの第二中を擁する錦町から。近いところで5丁目の春日神社。三十番神立像。謂れをたどってみると、興味深い。ひと月を日替わりで守ってくれる神様たち。平たく言い過ぎたが、なんだかロマンがある。境内の春日公園には、最近めっきり見なくなったジャングルジム。幼子が母親に見守られながら、一生懸命登っていた。6丁目方面へ向かい、行ったことがなかったわらびりんご公園。日本一早くなるとはいえ、木は確認できたが流石にまだ実ってはいない。ここにも親子連れが2、3組。とても平和な風景。続いて移動した先は静かな住宅地。なるほど、ここが「わらびりんご生誕の地」か。一軒の住宅。周囲にそれらしい看板等は確認できなかったが、横には広い庭がある。初めて種が撒かれた場所ってここかな、と勝手に合点し、錦町児童館の前を過ぎて今度は2丁目の富士見公園の方へ。この辺りはテニスコートや野球場など、来たことがある所も多かった。…が、二中からこんなに近くにあるとは知らなかった。点と点がつながった。更に進んで1丁目。小説の主人公の名を冠した大手総合ディスカウントストアまで来た。ふと、近くの住宅を見上げると、ベランダに二中のジャージが干してある。この辺りからも通っている子たちがいるんだ。けっこう遠いな。この辺は車の往来も常に激しい。子供たちの登下校の道中の安全を祈るばかりだ。

*紙面の都合で続きは次号 中央そして北町へ…